

注3

大学番号：018

[平成25年度設置]

計画の区分：学部の設置

注1

届出

北海道医療大学大学 リハビリテーション科学部

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 東日本学園

平成25年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 経営企画部総務企画課

職名・氏名 カチョウ ミ ウラ セイ シ
課長 三 浦 清 志

電話番号 0133-22-2111

（夜間） 0133-22-2111

F A X 0133-23-1669

e-mail seiji-m@hoku-iryo-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部
(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成25年3月15日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 東日本学園

(2) 大学名

北海道医療大学

(3) 大学の位置

〒061-0293

北海道石狩郡当別町字金沢1757番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(トウゴウ シゲオキ) 東郷重興 (平成24年10月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
学長	(ニイカワ ノリオ) 新川 詔夫 (平成22年4月)		
学部長	(イズミ タダフミ) 泉 唯史 (平成25年4月)		
研究科長 学科長等	(イズミ タダフミ) 泉 唯史 (平成25年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成23年度に報告済の内容 → (23)

平成25年度に報告する内容 → (25)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成22年度開設の4年制の学科の場合(平成25年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
リハビリテーション科学部 理学療法学科 作業療法学科 学士(理学療法) 学士(作業療法)	4年	80人 40人	2年次 5人 5人	335人 175人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度 理学療法学科・作業療法学科				平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	一人 () []	一人 () []	一人 () []	一人 () []	80人 () []	一人 () []	40人 () []	一人 () []	一人 () []	一人 () []	1.18倍	
志願者数	— () []	— () []	— () []	— () []	670 () []	— () []	618 () []	— () []	— () []	— () []		
受験者数	— () []	— () []	— () []	— () []	655 () []	— () []	605 () []	— () []	— () []	— () []		
合格者数	— () []	— () []	— () []	— () []	141 () []	— () []	139 () []	— () []	— () []	— () []		
B 入学者数	— () []	— () []	— () []	— () []	97 () []	— () []	46 () []	— () []	— () []	— () []		
入学定員超過率 B/A	—		—		1.21		1.15					

- (注) ・ 数字は, 平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[0] 143	[-] -	
2年次	/		[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	
3年次			/		[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -
4年次	/				[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -
計			[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[-] -	[0] 143	[-] -

- (注) ・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成22年度 入学者	人	人	平成22年度	人	人		%
			平成23年度	人	人		
			平成24年度	人	人		
			平成25年度	人	人		
平成23年度 入学者	人	人	平成23年度	人	人		%
			平成24年度	人	人		
			平成25年度	人	人		
平成24年度 入学者	人	人	平成24年度	人	人		%
			平成25年度	人	人		
平成25年度 入学者	143 人	0 人	平成25年度	人	人		0 %
合 計	143 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成25年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

＜リハビリテーション科学部 理学療法学科＞

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年	単位数				専任教員等の配置				備考		
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手			
全 学 教 育 科 目	基礎ゼミナール（コミュニケーション実践論）	1前	1			4		2			兼6 兼5	教育指導体制の充実を図るため教員を追加(25) ・教授1名について就任遅延により兼任として担当することに変更(H25.10.1就任予定)	
	文章指導（日本語の表現）	1前	1			3 4		1	1		兼6 兼5		
	人間と思想（心理学）	1後		2							兼1		
	人間と思想（死生学入門）	1前		2							兼1		
	人間と思想（哲学入門）	1前		2							兼1		
	人間と社会（医療の経済学）	1後		2							兼1		
	人間と社会（医療の法学）	1後		2							兼1		
	人間と社会（国際社会福祉論）	3前		2							兼3		
	人間と文化（文化人類学）	1前		2							兼1		
	人間と文化（環境の歴史）	2後		2							兼1		
	人間と文化（国際文化比較論）	2前		2							兼3		
	自然と科学（生命科学）	1前	2								兼1		
	英語Ⅰ（オーラル・イングリッシュA）	1前	1								兼3		
	英語Ⅰ（オーラル・イングリッシュB）	2前	1								兼3		
	英語Ⅱ（英語A）	1後		1							兼1		
	英語Ⅱ（英語B）	2後		1							兼1		
	中国語（中国語）	1前		1							兼1		
	韓国語（韓国語）	1後		1							兼1		
	フランス語（フランス語）	2後		1							兼1		
	ドイツ語（ドイツ語）	2前		1							兼1		
	情報処理演習（情報処理演習）	1前	1								兼1		
	統計学（基礎統計学）	3前	2								兼1		
	健康・運動科学演習（運動科学演習）	1通	2			1			1 0		兼1		教育指導体制の充実を図るため教員を追加(25)
	自然科学入門（基礎数理）	1前	1								兼1		
	自然科学入門（物理学）	1後	2								兼1		
	自然科学入門（生物学）	1後		2							兼1		
	自然科学入門（化学）	1後		2							兼1		
	個体差健康科学（個体差健康科学）	1前	2								兼1 5		
	医療倫理（医療倫理）	1後	2								兼1		
	地域連携（地域包括ケア演習）	3前		1		4		1	1		兼5		
	地域連携（メンタルケアをつくる1）	2前		1							兼5		
	多職種連携（多職種連携論）	3前	1			4		2			兼5		
	専 門 基 礎 科 目	解剖学Ⅰ	1前	1			1						兼2
解剖学Ⅱ		1後	1			1					兼2		
解剖学実習		2前	1			1					兼2		
生理学Ⅰ		1前	1								兼1		
生理学Ⅱ		1後	1								兼1		
生理学実習		1後	1			1		2	1		兼6		
運動生理学		2前	1					1					
運動学Ⅰ		1後	1			1							
運動学Ⅱ		2前	1			1							
運動学実習		2後	1			2		2	1		兼3		
老年学		2前	1								兼2		
人間発達学		2前	1			1					兼1		
医学概論		1前	1								兼1		
病理学		2前	1								兼2		
整形外科学		2前	2								兼1		
内科学		2後	2								兼4		
神経学		2後	2								兼1		
小児科学		2後	1								兼1		
精神医学		2前	2								兼1		
病態運動学		2後	1			3							
高次脳機能障害学		2後		1							兼1		
臨床心理学		2後	1								兼1		
薬理学		2後		1							兼1		
公衆衛生学		2後	1								兼2		
栄養学		2後		1							兼1		
リハビリテーション概論		1前	2			1					兼2		
保健医療福祉論		3前	1			1					兼3		
障がい当事者論	2前	1			1					兼1			
作業療法概論	1前		2							兼8			
作業適応学	1後		2							兼8			
積雪寒冷地の生活と諸問題	3通	1			1								

2 授業科目の概要

<リハビリテーション科学部 作業療法学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				備考			
			必修	選択	自由		教授	准教授	講師	助教		助手		
全 学 教 育 科 目	基礎ゼミナール (コミュニケーション実践論)	1前	1				2		4 3			兼6	教育指導体制の充実を図るため教員を追加 (25)	
	文章指導 (日本語の表現)	1前	1				2	1	1	1		兼6		
	人間と思想 (心理学)	1後		2								兼1		
	人間と思想 (死生学入門)	1前		2								兼1		
	人間と思想 (哲学入門)	1前		2								兼1		
	人間と社会 (医療の経済学)	1後		2								兼1		
	人間と社会 (医療の法学)	1後		2								兼1		
	人間と社会 (国際社会福祉論)	3前		2					1			兼2		
	人間と文化 (文化人類学)	1前		2								兼1		
	人間と文化 (環境の歴史)	2後		2					1					
	人間と文化 (国際文化比較論)	2前		2								兼3		
	自然と科学 (生命科学)	1前	2				1							
	英語 I (オラル・イングリッシュA)	1前	1									兼3		
	英語 I (オラル・イングリッシュB)	2前	1									兼3		
	英語 II (英語A)	1後		1								兼1		
	英語 II (英語B)	2後		1								兼1		
	中国語 (中国語)	1前		1								兼1		
	韓国語 (韓国語)	1後		1								兼1		
	フランス語 (フランス語)	2後		1								兼1		
	ドイツ語 (ドイツ語)	2前		1								兼1		
	情報処理演習 (情報処理演習)	1前	1									兼1		
	統計学 (基礎統計学)	3前	2									兼1		
	健康・運動科学演習 (運動科学演習)	1通	2									兼3 兼2		教育指導体制の充実を図るため教員を追加 (25)
	自然科学入門 (基礎数理)	1前	1									兼1		
	自然科学入門 (物理学)	1後		2								兼1		
	自然科学入門 (生物学)	1後	2				1							
	自然科学入門 (化学)	1後		2								兼1		
	個体差健康科学 (個体差健康科学)	1前	2						1			兼1 4		
	医療倫理 (医療倫理)	1後	2									兼1		
	地域連携 (地域包括ケア演習)	3前		1			2		3			兼6		
	地域連携 (メディア制作をつくる I)	2前		1			1		1			兼3		
	多職種連携 (多職種連携論)	3前	1				2	1	1	1		兼6		
	専 門 基 礎 科 目	解剖学 I	1前	1										
解剖学 II		1後	1									兼3		
解剖学実習		2前	1									兼3		
生理学 I		1前	1									兼1		
生理学 II		1後	1									兼1		
生理学実習		1後	1						2	1		兼7		
運動生理学		2前	1									兼1		
運動学 I		1後	1									兼1		
運動学 II		2前	1									兼1		
運動学実習		2後	1				1		2			兼5		
老年学		2前	1									兼2		
人間発達学		2前	1						1			兼1		
医学概論		1前	1				1							
病理学		2前	1									兼2		
整形外科		2前	2									兼1		
内科学		2後	2									兼4		
神経学		2後	2				1							
小児科学		2後	1									兼1		
精神医学 I		2前	2				1							
精神医学 II		2後	2				1							
病態運動学		2後	1									兼3		
高次脳機能障害学		2後	1				1							
臨床心理学		2後	1									兼1		
薬理学		2後		1								兼1		
公衆衛生学		2後	1									兼2		
栄養学		2後		1								兼1		
リハビリテーション概論		1前	2				2					兼1		
理学療法概論		1前		2								兼2		
基礎理学療法学		1後		2								兼5		
保健医療福祉論		3前	1									兼4		
障がい者当事者論	2前	1						1			兼1			
積雪寒冷地の生活と諸問題	3通	1									兼1			

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2	該当なし					
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2	該当なし					
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	歯学部附属歯科衛生士専門学校と共有 大学全体			
	校舎敷地	64,222.53㎡	1,650.00㎡	0㎡	65,872.53㎡				
	運動場用地	27,800.00㎡	0㎡	0㎡	27,800.00㎡				
	小 計	92,022.53㎡	1,650.00㎡	0㎡	93,672.53㎡				
	そ の 他	57,315.74㎡	0㎡	0㎡	57,315.74㎡				
	合 計	149,338.27㎡	1,650.00㎡	0㎡	150,988.27㎡				
(2) 校舎	専 用	72,110.27㎡ 72,209.57㎡ (72,110.27㎡) (72,209.57㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	72,110.27㎡ 72,209.57㎡ (72,110.27㎡) (72,209.57㎡)	大学全体 校舎増築部分の登記により面積変更(25)			
	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
(3) 教室等	43室	34室	44室	1室 (補助職員 人)	2室 (補助職員 人)	大学全体			
	新設学部等の名称			室 数					
リハビリテーション科学部			16 室						
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種		視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体 機械・器具・標本数の変更(25)	
			電子ジャーナル 〔うち外国書〕						
	リハビリテーション科学部	257,332 [81,104] (239,810 [78,380])	2,869 [1,118] (2,696 [1,216])	4,185 [3,270] (5,300 [4,379])	6,244 (5,906)	98,014 98,020 (67,410)	2,500 2,208 (2,500)		
	計	257,332 [81,104] (239,810 [78,380])	2,869 [1,118] (2,696 [1,216])	4,185 [3,270] (5,300 [4,379])	6,244 (5,906)	98,014 98,020 (67,410)	2,500 2,208 (2,500)		
(6) 図書館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		閲覧席を増設(25)		
	4,866.96 ㎡		437 445 席		275,000 冊				
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	1,746.49㎡		屋外野球場・サッカー/ラグビー場・テニスコート(27,800㎡) フィットネスセンター(411㎡)						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	届出学部全体 共同研究費については大学全体
		教員1人当り研究費等	451千円	448千円	図書購入費	4,200千円	2,600千円	2,040千円	
	共同研究費等	2,300千円	23,000千円	設備購入費	246,402千円	123,304千円	20,000千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費(運用コストを含む)を含む。
		1,325千円	1,325千円	1,325千円	1,325千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学経常費補助金・雑収入等							

(注)・設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成25年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(25)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	北海道医療大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
薬学部 薬学科	6	160	3年次 10	960	学士 (薬学)	1.16	平成18年度	北海道石狩郡当別町 字金沢1757番地	
歯学部 歯学科	6	80	—	560	学士 (歯学)	0.64	昭和53年度	北海道石狩郡当別町 字金沢1757番地	
看護福祉学部 看護学科	4	100	3年次 9	398	学士 (看護学)	1.16	平成5年度	北海道石狩郡当別町 字金沢1757番地	
臨床福祉学科	4	80	3年次 9	358	学士 (臨床福祉学)	1.00	平成14年度		
心理科学部 臨床心理学科	4	75	3年次 2	284	学士 (臨床心理学)	1.08	平成14年度	北海道札幌市北区あ いの里2条5丁目	
言語聴覚療法学科	4	60	3年次 10	246	学士 (言語聴覚療法学)	1.25	平成14年度		
リハビリテーション科学部 理学療法学科	4	80	2年次 5	80	学士 (理学療法学)	1.21	平成25年度	北海道石狩郡当別町 字金沢1758番地	
作業療法学科	4	40	2年次 5	40	学士 (作業療法学)	1.15	平成25年度		
薬学研究科 生命薬科学専攻修士課程	2	3	—	6	修士 (生命薬科学)	0.16	平成22年度	北海道石狩郡当別町 字金沢1757番地	3年課程平成24年 度募集停止
薬学専攻博士後期課程(3年)	3	—	—	4	博士 (薬学)		昭和57年度		
薬学専攻博士後期課程(4年)	4	3	—	6	博士 (薬学)	0.83	平成24年度		
歯学研究科 歯学専攻博士課程	4	18	—	72	博士 (歯学)	0.53	昭和63年度	北海道石狩郡当別町 字金沢1757番地	
看護福祉学研究科 看護学専攻修士課程	2	15	—	30	修士 (看護学)	0.96	平成9年度		
看護学専攻博士課程	3	2	—	6	博士 (看護学)	0.83	平成11年度	北海道石狩郡当別町 字金沢1757番地	
臨床福祉学専攻修士課程	2	5	—	10	修士 (臨床福祉学)	0.60	平成16年度		
臨床福祉学専攻博士課程	3	2	—	6	博士 (臨床福祉学)	0.00	平成16年度		
心理科学研究科 臨床心理学専攻修士課程	2	10	—	20	修士 (臨床心理学)	1.00	平成16年度		
臨床心理学専攻博士課程	3	2	—	6	博士 (臨床心理学)	1.00	平成16年度	北海道札幌市北区あ いの里2条5丁目	
言語聴覚学専攻修士課程	2	5	—	10	修士 (言語聴覚学)	0.20	平成18年度		
言語聴覚学専攻博士課程	3	2	—	6	博士 (言語聴覚学)	0.00	平成18年度		
リハビリテーション科学研究科 リハビリテーション科学専攻修士課程	2	5	—	5	修士 (リハビリテーション科学)	1.00	平成25年度	北海道石狩郡当別町 字金沢1758番地	

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)について, それぞれの学校種ごとに, 平成25年5月1日現在の
上記項目の情報を記入してください。その際, AC対象学部学科等についても当該様式に記入してくだ
さい。(ただし, 専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。)
- ・ 「定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の
平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を, 学科(短期大学において専攻課程を設置
している場合には, 専攻課程)単位で記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員と収容定員は「—」とし, 「備考」に「平成
〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<リハビリテーション科学部 理学療法学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	泉 唯史 (57)	平成25年4月	文章指導 (日本語の表現) 多職種連携 (多職種連携論) リハビリテーション概論 理学療法概論 理学療法管理・運営論 理学療法英文原著読解 医療コミュニケーション 理学療法評価学総合演習 内部障害理学療法学 内部障害理学療法学演習 理学療法治療学総合演習 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ 臨床実習Ⅴ 理学療法総合講義 理学療法研究セミナーⅠ 理学療法研究セミナーⅡ						
専	教授	小島 悟 (43)	平成25年4月	文章指導 (日本語の表現) 地域連携 (地域包括ケア演習) 運動学Ⅰ 運動学Ⅱ 運動学実習 基礎理学療法学 理学療法英文原著読解 医療コミュニケーション 理学療法基礎評価学Ⅰ 理学療法評価学総合演習 物理療法学 理学療法治療学総合演習 障害者スポーツ指導論 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ 臨床実習Ⅴ 理学療法総合講義 理学療法研究セミナーⅠ 理学療法研究セミナーⅡ						
専	教授	鈴木 英樹 (46)	平成25年4月	基礎セミナー (コミュニケーション実践論) 地域連携 (地域包括ケア演習) 保健医療福祉論 障がい当事者論 積雪寒冷地の生活と諸問題 理学療法概論 理学療法英文原著読解 医療コミュニケーション 理学療法評価学総合演習 日常生活動作学Ⅰ 日常生活動作学Ⅱ 理学療法治療学総合演習 地域理学療法学 地域理学療法学演習 生活環境論 健康増進と理学療法 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ 臨床実習Ⅴ 理学療法総合講義 理学療法研究セミナーⅠ 理学療法研究セミナーⅡ						

専	教授	吉田 晋 (46)	平成25年4月	文章指導（日本語の表現） 多職種連携（多職種連携論） 生理学実習 病態運動学 基礎理学療法学 理学療法英文原著読解 医療コミュニケーション 理学療法基礎評価学Ⅱ 理学療法評価学総合演習 運動療法学Ⅰ 運動療法学Ⅱ 神経障害理学療法学 神経障害理学療法学演習 理学療法治療学総合演習 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ 臨床実習Ⅴ 理学療法総合講義 理学療法研究セミナーⅠ 理学療法研究セミナーⅡ	兼任	講師	吉田 晋 (46)	平成25年4月	文章指導（日本語の表現） 多職種連携（多職種連携論） 生理学実習 病態運動学 基礎理学療法学 理学療法英文原著読解 医療コミュニケーション 理学療法基礎評価学Ⅱ 理学療法評価学総合演習 運動療法学Ⅰ 運動療法学Ⅱ 神経障害理学療法学 神経障害理学療法学演習 理学療法治療学総合演習 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ 臨床実習Ⅴ 理学療法総合講義 理学療法研究セミナーⅠ 理学療法研究セミナーⅡ	平成25年4月 現職都合により、就任が遅延 (28)
				平成25年10月						
専	教授	堀本 佳誉 (38)	平成25年4月	文章指導（日本語の表現） 地域連携（地域包括ケア演習） 人間発達学 病態運動学 基礎理学療法学 理学療法研究法 理学療法英文原著読解 医療コミュニケーション 理学療法基礎評価学Ⅱ 理学療法評価学総合演習 発達障害理学療法学 発達障害理学療法学演習 理学療法治療学総合演習 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ 臨床実習Ⅴ 理学療法総合講義 理学療法研究セミナーⅠ 理学療法研究セミナーⅡ						
専	教授	武田 涼子 (43)	平成27年4月	多職種連携（多職種連携論） 義肢装具学Ⅱ 骨関節障害理学療法学 骨関節障害理学療法学演習 理学療法治療学総合演習 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ 臨床実習Ⅴ 理学療法総合講義 理学療法研究セミナーⅠ 理学療法研究セミナーⅡ						
兼任	講師	武田 涼子 (41)	平成25年4月	基礎ゼミナール（コミュニケーション実践論） 運動学実習 病態運動学 基礎理学療法学 理学療法英文原著読解 医療コミュニケーション 理学療法基礎評価学Ⅰ 理学療法評価学総合演習 義肢装具学Ⅰ 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ						

専	教授	高橋 尚明 (43)	平成25年4月	基礎ゼミナル (コミュニケーション実践論) 地域連携 (地域包括ケア演習) 解剖学 I 解剖学 II 解剖学実習 基礎理学療法 理学療法英文原著読解 医療コミュニケーション 理学療法基礎評価学 II 理学療法評価学総合演習 義肢装具学 I 義肢装具学 II 日常生活動作学 I 日常生活動作学 II 内部障害理学療法 内部障害理学療法演習 理学療法治療学総合演習 神経筋促進治療論 臨床実習 I 臨床実習 II 臨床実習 III 臨床実習 IV 臨床実習 V 理学療法総合講義 理学療法研究セミナー I 理学療法研究セミナー II					
専	教授	山口 明彦 (50)	平成25年4月	基礎ゼミナル (コミュニケーション実践論) 健康・運動科学演習 (運動科学演習) 多職種連携 (多職種連携論) 理学療法英文原著読解 理学療法総合講義 理学療法研究セミナー I 理学療法研究セミナー II					
専	講師	宮崎 充功 (34)	平成25年4月	文章指導 (日本語の表現) 多職種連携 (多職種連携論) 生理学実習 運動生理学 運動学実習 理学療法英文原著読解 医療コミュニケーション 理学療法基礎評価学 I 理学療法評価学総合演習 物理療法 運動療法学 I 運動療法学 II 理学療法治療学総合演習 臨床実習 I 臨床実習 II 臨床実習 III 臨床実習 IV 臨床実習 V 理学療法総合講義 理学療法研究セミナー I 理学療法研究セミナー II					
専	講師	澤田 篤史 (35)	平成27年4月	多職種連携 (多職種連携論) 骨関節障害理学療法演習 神経障害理学療法演習 発達障害理学療法演習 内部障害理学療法演習 理学療法治療学総合演習 健康増進と理学療法 臨床実習 III 臨床実習 IV 臨床実習 V 理学療法総合講義 理学療法研究セミナー I 理学療法研究セミナー II					
兼任	講師	澤田 篤史 (33)	平成25年4月	基礎ゼミナル (コミュニケーション実践論) 運動学実習 理学療法英文原著読解 医療コミュニケーション 理学療法評価学総合演習 運動療法学 I 臨床実習 I 臨床実習 II					

専	講師	長谷川 純子 (32)	平成25年4月	基礎ゼミナール (コミュニケーション実践論) 地域連携 (地域包括ケア演習) 生理学実習 理学療法英文原著読解 医療コミュニケーション 理学療法基礎評価Ⅰ 理学療法評価学総合演習 日常生活動作Ⅰ 日常生活動作Ⅱ 理学療法治療学総合演習 地域理学療法演習 生活環境論 国際協力と理学療法 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ 臨床実習Ⅴ 理学療法総合講義 理学療法研究セミナーⅠ 理学療法研究セミナーⅡ						
専	講師	佐々木 祐二 (43)	平成26年4月	理学療法英文原著読解 医療コミュニケーション 骨関節障害理学療法演習 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ 臨床実習Ⅴ 理学療法総合講義 理学療法研究セミナーⅠ 理学療法研究セミナーⅡ						
専	助教	大塚 裕之 (29)	平成25年4月	文章指導 (日本語の表現) 地域連携 (地域包括ケア演習) 生理学実習 運動学実習 理学療法英文原著読解 医療コミュニケーション 理学療法基礎評価Ⅱ 理学療法評価学総合演習 物理療法 運動療法Ⅱ 神経障害理学療法 神経障害理学療法演習 理学療法治療学総合演習 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ 臨床実習Ⅴ 理学療法総合講義 理学療法研究セミナーⅠ 理学療法研究セミナーⅡ						
					専	助教	井上 恒志郎 (27)	平成25年4月	健康・運動科学演習 (運動科学演習) 理学療法研究セミナーⅠ 理学療法研究セミナーⅡ	平成25年4月 教育指導体制の充実を図るため、 教員を通知 (25)
兼任	教授	新川 詔夫 (70)	平成25年4月	個体差健康科学 (個体差健康科学)						
兼任	教授	鎌田 樹寛 (53)	平成25年4月	基礎ゼミナール (コミュニケーション実践論) 地域連携 (地域包括ケア演習) リハビリテーション概論 作業療法概論 作業適用学						
兼任	教授	本家 寿洋 (45)	平成25年4月	文章指導 (日本語の表現) 多職種連携 (多職種連携論) 運動学実習 作業療法概論 作業適用学 神経筋促進治療論 リハビリテーション工学						
兼任	教授	上野 武治 (70)	平成26年4月	多職種連携 (多職種連携論) 神経学 精神医学 高次脳機能障害学						
兼任	講師	上野 武治 (69)	平成25年4月	文章指導 (日本語の表現) 医学概論 リハビリテーション概論						

兼任	教授	国永 史朗 (62)	平成25年4月	基礎ゼミナール(コミュニケーション実践論) 自然と科学(生命科学) 自然科学入門(生物学) 地域連携(地域包括ケア演習) 地域連携(ディカ助ヲをつくるI)							
兼任	教授	江口 正尊 (64)	平成25年4月	人間と思想(死生学入門) 医療倫理(医療倫理)							
兼任	教授	小野 滋男 (64)	平成25年4月	人間と思想(哲学入門)							
兼任	教授	半田 祐二郎 (60)	平成25年4月	個体差健康科学(個体差健康科学) 人間と社会(国際社会福祉論) 人間と文化(国際文化比較論)							
兼任	教授	Howard N. Iarnoff (60)	平成25年4月	人間と文化(国際文化比較論) 英語I(オーラル・イングリッシュA) 英語I(オーラル・イングリッシュB)							
兼任	教授	森田 勲 (58)	平成25年4月	健康・運動科学演習(運動科学演習)							
兼任	教授	塚越 博史 (52)	平成25年4月	英語II(英語A)							
兼任	教授	橋本 昇 (63)	平成25年4月	自然科学入門(物理学)							
兼任	教授	黒澤 隆夫 (62)	平成25年4月	自然科学入門(化学)							
兼任	教授	坂倉 康則 (58)	平成25年4月	解剖学I 解剖学II 解剖学実習							
兼任	教授	入江 一元 (52)	平成25年4月	解剖学I 解剖学II 解剖学実習							
兼任	教授	石井 久淑 (42)	平成25年4月	生理学実習							
兼任	教授	山田 律子 (47)	平成26年4月	老年学							
兼任	教授	安彦 善裕 (53)	平成26年4月	病理学							
兼任	教授	冢子 正裕 (59)	平成26年4月	内科学							
兼任	教授	伊藤 昭英 (53)	平成26年4月	内科学							
兼任	教授	谷村 明彦 (51)	平成26年4月	薬理学							
兼任	教授	千葉 逸朗 (58)	平成26年4月	公衆衛生学							
兼任	教授	廣重 力 (82)	平成25年4月	個体差健康科学(個体差健康科学)							
兼任	教授	坂野 雄二 (62)	平成25年4月	個体差健康科学(個体差健康科学)							
兼任	教授	中山 英二 (54)	平成25年4月	個体差健康科学(個体差健康科学)							
兼任	教授	小林 正伸 (60)	平成25年4月	個体差健康科学(個体差健康科学)							
兼任	教授	向谷地 生良 (57)	平成25年4月	個体差健康科学(個体差健康科学)							
兼任	准教授	浅野 雅子 (38)	平成25年4月	文章指導(日本語の表現) 多職種連携(多職種連携論) 作業療法概論 作業適病学							
兼任	准教授	花淵 馨也 (46)	平成25年4月	個体差健康科学(個体差健康科学) 人間と社会(国際社会福祉論) 人間と文化(文化人類学) 人間と文化(国際文化比較論)	兼任	教授	花淵 馨也 (46)	平成25年4月	個体差健康科学(個体差健康科学) 人間と社会(国際社会福祉論) 人間と文化(文化人類学) 人間と文化(国際文化比較論)		平成25年4月 昇格
兼任	准教授	柳田 寛 (63)	平成26年4月	フランス語(フランス語)							
兼任	准教授	二瓶 裕之 (47)	平成25年4月	情報処理演習(情報処理演習)							
兼任	准教授	石田 朗 (48)	平成25年4月	統計学(基礎統計学) 自然科学入門(基礎数理)							
兼任	准教授	長谷川 聡 (58)	平成26年4月	地域連携(ディカ助ヲをつくるI)							
兼任	准教授	長田 和実 (53)	平成25年4月	生理学実習							
兼任	准教授	萩野 悦子 (49)	平成26年4月	老年学							
兼任	准教授	高橋 伸彦 (44)	平成26年4月	内科学							
兼任	准教授	太田 亨 (49)	平成25年4月	個体差健康科学(個体差健康科学) 小児科学							
兼任	准教授	北市 伸義 (44)	平成25年4月	個体差健康科学(個体差健康科学)							

兼任	講師	浅野 葉子 (40)	平成25年4月	文章指導 (日本語の表現) 多職種連携 (多職種連携論) 運動学実習 障がい者当事者論 作業療法概論 作業適用品						
兼任	講師	朝日 まどか (37)	平成25年4月	基礎ゼミナール (コミュニケーション実践論) 地域連携 (地域包括ケア演習) 生理学実習 作業療法概論 作業適用品						
兼任	講師	澤村 大輔 (34)	平成26年4月	地域連携 (地域包括ケア演習) 義肢装具学Ⅰ 義肢装具学Ⅱ リハビリテーション工学						
兼任	講師	澤村 大輔 (33)	平成25年4月	基礎ゼミナール (コミュニケーション実践論) 生理学実習 作業療法概論 作業適用品						
兼任	講師	千葉 芳広 (45)	平成25年4月	個体差健康科学 (個体差健康科学) 人間と社会 (国際社会福祉論) 人間と文化 (環境の歴史) 地域連携 (ディイカ助カをつくるⅠ)	兼任	講師	千葉 芳広 (45)	平成25年4月	基礎ゼミナール (コミュニケーション実践論) 個体差健康科学 (個体差健康科学) 人間と社会 (国際社会福祉論) 人間と文化 (環境の歴史) 地域連携 (ディイカ助カをつくるⅠ)	平成25年4月 教育指導体制の充実を図るため基礎ゼミナール (コミュニケーション実践論)に教員を追加 (25)
兼任	講師	木村 恵 (39)	平成25年4月	基礎ゼミナール (コミュニケーション実践論) 地域連携 (地域包括ケア演習) 運動学実習 人間発達学 作業療法概論 作業適用品						
兼任	講師	櫻井 潤 (35)	平成25年4月	人間と社会 (医療の経済学)						
兼任	講師	森元 拓 (43)	平成25年4月	人間と社会 (医療の法学)	兼任	講師	姫嶋 瑞穂 (36)	平成25年4月	人間と社会 (医療の法学)	平成24年8月 森元 拓前職退職のため平成25年度より担当者の変更 (25)
兼任	講師	新岡 丈治 (38)	平成26年4月	地域連携 (ディイカ助カをつくるⅠ)						
兼任	講師	岸本 憲明 (43)	平成26年4月	内科学						
兼任	講師	水谷 博幸 (55)	平成26年4月	公衆衛生学						
兼任	講師	荒川 俊哉 (50)	平成25年4月	個体差健康科学 (個体差健康科学) 栄養学						
兼任	講師	大澤 宜明 (44)	平成25年4月	個体差健康科学 (個体差健康科学)						
兼任	講師	浜上 尚也 (49)	平成25年4月	個体差健康科学 (個体差健康科学)						
兼任	助教	児玉 杜志 (31)	平成25年4月	文章指導 (日本語の表現) 多職種連携 (多職種連携論) 生理学実習 作業療法概論 作業適用品 障害者スポーツ指導論						
兼任	助教	松岡 紘史 (33)	平成25年4月	人間と思想 (心理学) 臨床心理学						
兼任	助教	金澤 潤一郎 (38)	平成26年4月	地域連携 (ディイカ助カをつくるⅠ)						
兼任	助教	山崎 真美 (36)	平成26年4月	病理学	兼任	助教	吉田 光希 (32)	平成26年4月	病理学	平成25年3月 山崎真美助教退職のため平成26年度より担当者の変更 (25)
兼任	講師	Adrian Travis Cain (36)	平成25年4月	英語Ⅰ (オーラル・イングリッシュA) 英語Ⅰ (オーラル・イングリッシュB)						
兼任	講師	Shaun Russell Hoggard (38)	平成25年4月	英語Ⅰ (オーラル・イングリッシュA) 英語Ⅰ (オーラル・イングリッシュB)						
兼任	講師	渡辺 まどか (50)	平成26年4月	英語Ⅱ (英語B)						
兼任	講師	工藤 亜希子 (35)	平成25年4月	中国語 (中国語)	兼任	講師	日野杉 匡大 (36)	平成25年4月	中国語 (中国語)	平成25年4月 開講日曜の開設が困難となったため、担当者の変更 (25)
兼任	講師	李 俊鎬 (56)	平成25年4月	韓国語 (韓国語)	兼任	講師	申 相勲 (42)	平成25年4月	韓国語 (韓国語)	平成25年4月 開講日曜の開設が困難となったため、担当者の変更 (25)
兼任	講師	阿部 和夫 (46)	平成26年4月	ドイツ語 (ドイツ語)						

兼任	講師	倉橋 昌司 (67)	平成25年4月	生理学Ⅰ 生理学Ⅱ 生理学実習						
兼任	講師	松田 一郎 (80)	平成25年4月	個体差健康科学 (個体差健康科学)						
兼任	講師	薄井 正道 (71)	平成26年4月	整形外科学						
兼任	講師	加賀谷 芳夫 (56)	平成27年4月	保健医療福祉論						
兼任	講師	森 茂樹 (50)	平成27年4月	保健医療福祉論						
兼任	講師	菊地 啓介 (50)	平成27年4月	保健医療福祉論						
兼任	講師	三谷 正信 (63)	平成27年4月	画像診断学						
兼任	講師	安田 義幸 (49)	平成26年4月	義肢装具学Ⅰ 義肢装具学Ⅱ						
兼任	講師	高橋 慎 (45)	平成26年4月	義肢装具学Ⅰ 義肢装具学Ⅱ						
兼任	講師	前田 克史 (50)	平成27年4月	スポーツ障害理学療法論						
兼任	講師	大森 達也 (41)	平成27年4月	スポーツ障害理学療法論						
兼任	講師	片平 詠子 (42)	平成27年4月	ハンドセラピー						
兼任	講師	清川 雅文 (36)	平成27年4月	徒手療法論						
兼任	講師	大須田 祐亮 (33)	平成28年4月	障害者スポーツ指導論						
兼任	講師	岡崎 勇二 (53)	平成28年4月	障害者スポーツ指導論						

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇学部 △△学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成25年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 ・ **認可で設置された学部長の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
8	0	4	1	13	8	0	4	2	14	65	0
(7)	(0)	(2)	(1)	(10)	[0]	[0]	[0]	[1]	[1]	歳	名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成25年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)
 ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成25年5月1日現在、特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。

5 教員組織の状況

<リハビリテーション科学部 作業療法学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
専	教授	鎌田 樹寛 (53)	平成25年4月	基礎セミナー(コミュニケーション実践論) 地域連携(地域包括ケア演習) リハビリテーション概論 作業療法概論 作業療法技術学演習Ⅰ 作業療法技術学演習Ⅱ 作業療法研究法 精神機能評価学 評価学実習 精神障害作業療法学 精神障害作業療法学演習 老年障害作業療法学 老年障害作業療法学演習 作業適応学 就業援助論 臨床見学 評価実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 作業療法学総合講義 作業療法研究セミナーⅠ 作業療法研究セミナーⅡ						
専	教授	本家 寿洋 (45)	平成25年4月	文章指導(日本語の表現) 多職種連携(多職種連携論) 運動学実習 作業療法概論 職業倫理・管理学 作業療法技術学演習Ⅰ 作業療法技術学演習Ⅱ 作業療法研究法 身体機能評価学Ⅰ 身体機能評価学Ⅱ 評価学実習 身体障害作業療法学 身体障害作業療法学演習 作業適応学 神経筋促進治療論 リハビリテーション工学 臨床見学 評価実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ 作業療法学総合講義 作業療法研究セミナーⅠ 作業療法研究セミナーⅡ						
専	教授	上野 武治 (70)	平成26年4月	多職種連携(多職種連携論) 神経学 精神医学Ⅰ 精神医学Ⅱ 高次脳機能障害学 作業療法学総合講義 作業療法研究セミナーⅠ 作業療法研究セミナーⅡ						
兼任	講師	上野 武治 (69)	平成25年4月	文章指導(日本語の表現) 医学概論 リハビリテーション概論						
専	教授	国永 史朗 (62)	平成25年4月	基礎セミナー(コミュニケーション実践論) 自然と科学(生命科学) 自然科学入門(生物学) 地域連携(地域包括ケア演習) 地域連携(「アイデア」をつくるⅠ) 作業療法学総合講義 作業療法研究セミナーⅠ 作業療法研究セミナーⅡ						

専	准教授	浅野 雅子 (38)	平成25年4月	文章指導 (日本語の表現) 多職種連携 (多職種連携論) 作業療法概論 作業療法技術学演習 I 作業療法技術学演習 II 作業療法研究法 精神機能評価学 評価学実習 作業適学 音楽療法 園芸療法 臨床見学 評価実習 総合臨床実習 I 総合臨床実習 II 作業療法学総合講義 作業療法研究セミナー I 作業療法研究セミナー II					
専	准教授	鈴木 由美 (53)	平成27年4月	総合臨床実習 I 総合臨床実習 II 作業療法学総合講義 作業療法研究セミナー I 作業療法研究セミナー II					
専	講師	浅野 葉子 (40)	平成25年4月	文章指導 (日本語の表現) 多職種連携 (多職種連携論) 運動学実習 障がい当事者論 作業療法概論 作業療法技術学演習 I 作業療法技術学演習 II 身体機能評価学 I 身体機能評価学 II 評価学実習 日常生活援助学 日常生活援助学演習 作業適学 地域作業療法学 地域作業療法学演習 臨床見学 評価実習 総合臨床実習 I 総合臨床実習 II 作業療法学総合講義 作業療法研究セミナー I 作業療法研究セミナー II					
専	講師	朝日 まどか (37)	平成25年4月	基礎ゼミナール (コミュニケーション実践論) 地域連携 (地域包括ケア演習) 生理学実習 作業療法概論 作業療法技術学演習 I 作業療法技術学演習 II 評価学概論 評価学実習 日常生活援助学 日常生活援助学演習 作業適学 地域作業療法学 地域作業療法学演習 臨床見学 評価実習 総合臨床実習 I 総合臨床実習 II 作業療法学総合講義 作業療法研究セミナー I 作業療法研究セミナー II					

専	講師	澤村 大輔 (34)	平成26年4月	地域連携 (地域包括77演習) 作業療法技術学演習 I 作業療法技術学演習 II 評価学概論 身体機能評価学 I 身体機能評価学 II 評価学実習 高次脳機能障害作業療法学 高次脳機能障害作業療法学演習 義肢装具学 リハビリテーション工学 臨床見学 評価実習 総合臨床実習 I 総合臨床実習 II 作業療法学総合講義 作業療法研究セミナー I 作業療法研究セミナー II						
兼任	講師	澤村 大輔 (33)	平成25年4月	基礎ゼミナール (コミュニケーション実践論) 生理学実習 作業療法概論 作業適用学 臨床見学						
専	講師	千葉 芳広 (45)	平成25年4月	人間と社会 (国際社会福祉論) 人間と文化 (環境の歴史) 個体差健康科学 (個体差健康科学) 地域連携 (77演習をつくる I)	専	講師	千葉 芳広 (45)	平成25年4月	基礎ゼミナール (コミュニケーション実践論) 人間と社会 (国際社会福祉論) 人間と文化 (環境の歴史) 個体差健康科学 (個体差健康科学) 地域連携 (77演習をつくる I)	平成25年4月 教育指導体制の充実を図るため基礎ゼミナール (コミュニケーション実践論)に教員を追加 (2名)
専	講師	木村 恵 (39)	平成25年4月	基礎ゼミナール (コミュニケーション実践論) 地域連携 (地域包括77演習) 運動学実習 人間発達学 作業療法概論 作業療法技術学演習 I 作業療法技術学演習 II 評価学概論 発達系評価学 評価学実習 発達障害作業療法学 発達障害作業療法学演習 作業適用学 臨床見学 評価実習 総合臨床実習 I 総合臨床実習 II 作業療法学総合講義 作業療法研究セミナー I 作業療法研究セミナー II						
専	助教	児玉 壮志 (31)	平成25年4月	文章指導 (日本語の表現) 多職種連携 (多職種連携論) 生理学実習 作業療法概論 作業療法技術学演習 I 作業療法技術学演習 II 評価学概論 精神機能評価学 評価学実習 精神障害作業療法学 精神障害作業療法学演習 作業適用学 園芸療法 臨床見学 評価実習 総合臨床実習 I 総合臨床実習 II 作業療法学総合講義 作業療法研究セミナー I 作業療法研究セミナー II						

兼任	教授	新川 詔夫 (70)	平成25年4月	個体差健康科学 (個体差健康科学)							
兼任	教授	泉 唯史 (57)	平成25年4月	文章指導 (日本語の表現) 多職種連携 (多職種連携論) リハビリテーション概論 理学療法概論							
兼任	教授	小島 悟 (43)	平成25年4月	文章指導 (日本語の表現) 地域連携 (地域包括ケア演習) 運動学Ⅰ 運動学Ⅱ 運動学実習 基礎理学療法学							
兼任	教授	鈴木 英樹 (46)	平成25年4月	基礎セミナー (コミュニケーション実践論) 地域連携 (地域包括ケア演習) 理学療法概論 保健医療福祉論 障がい者当事者論 積雪寒冷地の生活と諸問題							
兼任	教授	吉田 晋 (46)	平成25年4月	文章指導 (日本語の表現) 多職種連携 (多職種連携論) 生理学実習 病態運動学 基礎理学療法学	兼任 講師	吉田 晋 (46)	平成25年4月	文章指導 (日本語の表現)	平成25年10月	多職種連携 (多職種連携論) 生理学実習 病態運動学 基礎理学療法学	平成25年4月 退職報告により、就任が遅延 (25)
兼任	教授	堀本 佳音 (38)	平成25年4月	文章指導 (日本語の表現) 地域連携 (地域包括ケア演習) 人間発達学 病態運動学 基礎理学療法学							
兼任	教授	武田 涼子 (43)	平成27年4月	多職種連携 (多職種連携論) 義肢装具学							
兼任	講師	武田 涼子 (41)	平成25年4月	基礎セミナー (コミュニケーション実践論) 運動学実習 病態運動学 基礎理学療法学							
兼任	教授	高橋 尚明 (43)	平成25年4月	基礎セミナー (コミュニケーション実践論) 地域連携 (地域包括ケア演習) 解剖学Ⅰ 解剖学Ⅱ 解剖学実習 基礎理学療法学 義肢装具学 呼吸リハビリテーション学 神経筋促進治療論							
兼任	教授	山口 明彦 (50)	平成25年4月	基礎セミナー (コミュニケーション実践論) 健康・運動科学演習 (運動科学演習) 多職種連携 (多職種連携論)							
兼任	教授	江口 正尊 (64)	平成25年4月	人間と思想 (死生学入門) 医療倫理 (医療倫理)							
兼任	教授	小野 滋男 (64)	平成25年4月	人間と思想 (哲学入門)							
兼任	教授	半田 祐二郎 (60)	平成25年4月	人間と社会 (国際社会福祉論) 人間と文化 (国際文化比較論) 個体差健康科学 (個体差健康科学)							
兼任	教授	Howard N. Tarnoff (60)	平成25年4月	人間と文化 (国際文化比較論) 英語Ⅰ (オーラル・イングリッシュA) 英語Ⅰ (オーラル・イングリッシュB)							
兼任	教授	森田 勲 (58)	平成25年4月	健康・運動科学演習 (運動科学演習)							
兼任	教授	塚越 博史 (52)	平成25年4月	英語Ⅱ (英語A)							
兼任	教授	橋本 昇 (63)	平成25年4月	自然科学入門 (物理学)							
兼任	教授	黒澤 隆夫 (62)	平成25年4月	自然科学入門 (化学)							
兼任	教授	坂倉 康則 (58)	平成25年4月	解剖学Ⅰ 解剖学Ⅱ 解剖学実習							
兼任	教授	入江 一元 (52)	平成25年4月	解剖学Ⅰ 解剖学Ⅱ 解剖学実習							
兼任	教授	石井 久淑 (42)	平成25年4月	生理学実習							
兼任	教授	山田 律子 (47)	平成26年4月	老年学							

兼任	教授	安彦 善裕 (53)	平成26年4月	病理学						
兼任	教授	冢子 正裕 (59)	平成26年4月	内科学						
兼任	教授	伊藤 昭英 (53)	平成26年4月	内科学						
兼任	教授	谷村 明彦 (51)	平成26年4月	薬理学						
兼任	教授	千葉 逸朗 (58)	平成26年4月	公衆衛生学						
兼任	教授	廣重 力 (82)	平成25年4月	個体差健康科学 (個体差健康科学)						
兼任	教授	坂野 雄二 (62)	平成25年4月	個体差健康科学 (個体差健康科学)						
兼任	教授	中山 英二 (54)	平成25年4月	個体差健康科学 (個体差健康科学)						
兼任	教授	小林 正伸 (60)	平成25年4月	個体差健康科学 (個体差健康科学)						
兼任	教授	向谷地 生良 (57)	平成25年4月	個体差健康科学 (個体差健康科学)						
兼任	准教授	花淵 馨也 (46)	平成25年4月	人間と社会 (国際社会福祉論) 人間と文化 (文化人類学) 人間と文化 (国際文化比較論) 個体差健康科学 (個体差健康科学)	兼任	教授	花淵 馨也 (46)	平成25年4月	人間と社会 (国際社会福祉論) 人間と文化 (文化人類学) 人間と文化 (国際文化比較論) 個体差健康科学 (個体差健康科学)	平成25年4月 昇格
兼任	准教授	柳田 寛 (63)	平成26年4月	フランス語 (フランス語)						
兼任	准教授	二瓶 裕之 (47)	平成25年4月	情報処理演習 (情報処理演習)						
兼任	准教授	石田 朗 (48)	平成25年4月	統計学 (基礎統計学) 自然科学入門 (基礎数理)						
兼任	准教授	長谷川 聡 (58)	平成26年4月	地域連携 (メディア活動をつくる I)						
兼任	准教授	長田 和実 (53)	平成25年4月	生理学実習						
兼任	准教授	萩野 悦子 (49)	平成26年4月	老年学						
兼任	准教授	高橋 伸彦 (44)	平成26年4月	内科学						
兼任	准教授	太田 亨 (49)	平成25年4月	個体差健康科学 (個体差健康科学) 小児科学						
兼任	准教授	北市 伸義 (44)	平成25年4月	個体差健康科学 (個体差健康科学)						
兼任	講師	宮崎 充功 (34)	平成25年4月	文章指導 (日本語の表現) 多職種連携 (多職種連携論) 生理学実習 運動生理学 運動学実習						
兼任	講師	澤田 篤史 (35)	平成27年4月	多職種連携 (多職種連携論)						
兼任	講師	澤田 篤史 (33)	平成25年4月	基礎ゼミナール (コミュニケーション実践論) 運動学実習						
兼任	講師	長谷川 純子 (32)	平成25年4月	基礎ゼミナール (コミュニケーション実践論) 地域連携 (地域包括ケア演習) 生理学実習						
兼任	講師	櫻井 潤 (35)	平成25年4月	人間と社会 (医療の経済学)						
兼任	講師	森元 拓 (43)	平成25年4月	人間と社会 (医療の法学)	兼任	講師	姫嶋 瑞穂 (36)	平成25年4月	人間と社会 (医療の法学)	平成24年8月 森元 拓講師退職のため平成25年 度より担当者の変更 (25)
兼任	講師	新岡 丈治 (38)	平成26年4月	地域連携 (メディア活動をつくる I)						
兼任	講師	岸本 憲明 (43)	平成26年4月	内科学						
兼任	講師	水谷 博幸 (55)	平成26年4月	公衆衛生学						
兼任	講師	荒川 俊哉 (50)	平成25年4月	個体差健康科学 (個体差健康科学) 栄養学						
兼任	講師	大澤 宜明 (44)	平成25年4月	個体差健康科学 (個体差健康科学)						
兼任	講師	浜上 尚也 (49)	平成25年4月	個体差健康科学 (個体差健康科学)						
兼任	助教	大塚 裕之 (29)	平成25年4月	文章指導 (日本語の表現) 地域連携 (地域包括ケア演習) 生理学実習 運動学実習						
					兼任	助教	井上 恒志郎 (27)	平成25年4月	健康・運動科学演習 (運動科学演習)	平成25年4月 健康指導体制の充実を図るため教 員を追加 (25)

兼任	助教	松岡 結史 (33)	平成25年4月	人間と思想 (心理学) 臨床心理学								
兼任	助教	金澤 潤一郎 (38)	平成26年4月	地域連携 (行'イカ'をつくるI)								
兼任	助教	山崎 真美 (36)	平成26年4月	病理学	兼任	助教	吉田 光希 (32)	平成26年4月	病理学			平成25年3月 山崎真美助教退職のため平成26年 度より担当者の変更 (25)
兼任	助教	池森 康裕 (40)	平成27年4月	介護技術方法論								
兼任	助教	高橋 由紀 (38)	平成27年4月	介護技術方法論								
兼任	講師	Adrian Travis Cain (36)	平成25年4月	英語 I (オーストラリア) 英語 I (オーストラリア)								
兼任	講師	Shaun Russell Hoggeard (38)	平成25年4月	英語 I (オーストラリア) 英語 I (オーストラリア)								
兼任	講師	渡辺 まどか (50)	平成26年4月	英語 II (英語 B)								
兼任	講師	工藤 亜希子 (35)	平成25年4月	中国語 (中国語)	兼任	講師	日野杉 匡大 (36)	平成25年4月	中国語 (中国語)			平成25年4月 開講日曜の開講が困難となったた め、担当者の変更 (25)
兼任	講師	李 俊鎬 (56)	平成25年4月	韓国語 (韓国語)	兼任	講師	申 相勲 (42)	平成25年4月	韓国語 (韓国語)			平成25年4月 開講日曜の開講が困難となった ため、担当者の変更 (25)
兼任	講師	阿部 和夫 (46)	平成26年4月	ドイツ語 (ドイツ語)								
兼任	講師	倉橋 昌司 (67)	平成25年4月	生理学 I 生理学 II 生理学実習								
兼任	講師	松田 一郎 (80)	平成25年4月	個体差健康科学 (個体差健康科学)								
兼任	講師	薄井 正道 (71)	平成26年4月	整形外科学								
兼任	講師	加賀谷 芳夫 (56)	平成27年4月	保健医療福祉論								
兼任	講師	森 茂樹 (50)	平成27年4月	保健医療福祉論								
兼任	講師	菊地 啓介 (49)	平成26年4月	保健医療福祉論 日常生活援助学 地域作業療法								
兼任	講師	三谷 正信 (63)	平成27年4月	画像診断学								
兼任	講師	安田 義幸 (50)	平成27年4月	義肢装具学								
兼任	講師	高橋 慎 (45)	平成27年4月	義肢装具学								
兼任	講師	片平 詠子 (42)	平成27年4月	ハンドセラピー								
兼任	講師	清川 雅文 (36)	平成27年4月	徒手療法論								
兼任	講師	杉原 式穂 (43)	平成27年4月	園芸療法								

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇)学部 △学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の**就任時における満年齢**を、「**変更状況**」には**平成25年5月1日現在の満年齢**を記入してください。
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 ・ 「専任教員採用等変更書(A〇)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
4	2	5	1	12	4	2	5	1	12	65	0
(3)	(1)	(4)	(1)	(9)	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	歳	名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成25年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: △1)
 ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成25年5月1日現在、特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			該当なし
2			
3			

(注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年△△月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。（認可で設置された学部学科等のみ。）
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<リハビリテーション科学部 理学療法学科・作業療法学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
特になし	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>*FD委員会【全学組織：FD委員会規程(別添)】</p> <p>*リハビリテーション科学部FD委員会【学部内組織】</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <p>*FD委員会：8回開催(平成24年度実績)</p> <p>*リハビリテーション科学部FD委員会：平成25年度4月設置</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>*FD委員会：①年間事業計画 ②FD研修(基本編)実施要領 ③FD研修(テーマ編)実施要領 ④授業アンケート実施要領 ⑤授業公開実施要領 他</p> <p>*リハビリテーション科学部FD委員会：①年間事業計画 ②FD研修セミナー開催要領 他</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>*FD委員会関係：FD研修(基本編)、FD研修(テーマ編)、授業アンケート、授業公開</p> <p>*リハビリテーション科学部FD委員会：平成25年度4月設置のため、現在、実施内容等、検討中。</p> <p>b 実施方法</p> <p>*FD委員会関係：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FD研修(基本編)：講義およびワークショップ【年1回・4月(1日)】 ・FD研修(テーマ編)：講義およびワークショップ【年1回・8月(2日)】 ・授業評価アンケート：各科目最終授業時間・OCR用紙・設問20問・5段階評価【年2回・前後期末】 ・授業公開：全学部全教員対象【通年・随時】 <p>*リハビリテーション科学部FD委員会：平成25年度4月設置のため、現在、実施方法等、検討中。</p> <p>c 開催状況(教員の参加状況含む)</p> <p>*FD委員会関係：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FD研修(基本編)：平成25年4月6日(土) 10:00～17:00 【リハビリテーション科学部対象教員：9名参加】 ・FD研修(テーマ編)：平成24年8月10日(金) 9:30～17:00 【リハビリテーション科学部対象教員：6名参加】 <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>平成24年度FD研修(テーマ編)では、「キャリア形成のための教育と支援」をテーマとして実施し、平成25年度FD研修(基本編)では、「チーム医療の観点から教員としてできること」をテーマとして実施した。それぞれ参加教員より、学部教員に内容等が報告され、各教員の授業運営や学生支援についての配慮に努めている。</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業評価アンケート：実施有 ・実施時期：年2回・前後期末(各授業科目最終講義時) <p>b 教員や学生への公開状況、方法等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業評価アンケートの集計・解析結果について教員に配布しており、併せて結果についてHPに掲載し学生・教職員が閲覧することが出来るようにしている。

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学部は、医療に対する社会のニーズの質的・量的変化に対応し、高度な医療技術と科学に基づくりハビリテーションと、それを推進するチーム医療に対応できる人材の養成を目的としている。この目的に基づき編成された授業科目については、すべて計画通り開講しており、順調なスタートを切ることが出来た。また、これらの趣旨・目的は高校生向けにも広報誌やホームページ等で広く周知を図った結果、初年度にあたる平成25年度入学生については、入学倍率が、理学療法学科で4.6倍、作業療法学科が4.4倍となり、円滑に学生確保を行うことが出来た。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成25年7月1日 公表予定

b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、学内教職員及び関係大学、団体等に配布。

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成22年度に評価機関（大学基準協会）の評価（第3回）を受審し、平成23年3月「大学基準に適合」しているとの認定を受けた。
- ・平成29年度に第4回目の評価機関（大学基準協会）の申請を予定している。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

()